

Kagawa prefectural agricultural college

農大だより

第31号



香川農大 Kpac

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

香川農大



香川県立農業大学校

〒766-0004

香川県仲多度郡琴平町榎井34-3

TEL (0877) 75-1141(代)

FAX (0877) 75-3989

E-mail: nodai@pref.kagawa.lg.jp



新しい専攻コースの  
設置にあたって

香川農大では将来を見据えて農業だけでなく林業の担い手育成にも取り組むため、担い手養成科の専攻コースの一部を『林業・造園緑化コース』（令和6年度設置）に再編する予定です。

また、今年度実施するオープンキャンパスでは、コロナ禍で休止していた野菜などの収穫体験メニューを復活、タケノコやVRシミュレータなどのメニューも新しく取り入れてさらに魅力的な行事として農業大学校を体感できるよう周年開催することとしています。

令和の危機「新型コロナウイルス」を乗り越え、停滞していたものが徐々に動き出す中、今後とも農業大学校は次代の農林業を志す人たちが集い、出会える場所であり続け、担い手育成の拠り所として発展していくことが期待されています。

香川県における農業と林業の人材育成の拠点である農業大学校に対してご支援、ご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。



### 農大担い手養成科 の紹介

農業大学校は農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設であり、本校の担い手養成科は、学校教育法に基づく専修学校に位置づけられているため、卒業生には短期大学卒業相当の学歴とともに「専門士」の称号が与えられ、四年制大学への編入への道が開かれています。

あわせて、高等教育修学支援新制度の対象機関となっているので日本学生支援機構の奨学金の利用ができます。

また、国の新規就農者育成総合対策（就農準備資金）は、担い手養成科、技術研修科（就農実践研修）ともに交付対象です。

教育内容の大きな特徴として、講義と農場実習を組み合わせ、より実践的に学べる点があります。授業のおよそ半分は実習で、作物の栽培や家畜の飼養などの生産活動を通して講義や演習、実験で学ぶ理論を実習と関連しながらしっかりと身に付けます。普通科卒業生も農業の基礎から学べます。

### 新入生の横顔と コースのPR

野菜園芸コース 水口 楓



私の家では祖父の代からホワイトアスパラスを生産

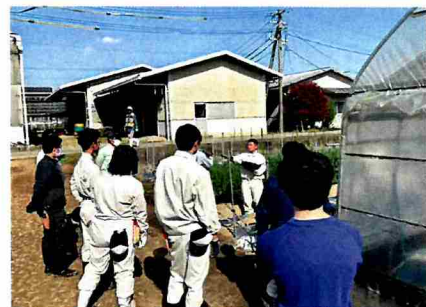
しており、現在は父が経営を引き継いでいます。

私の祖父は、品質の良い品物を出荷しないと産地自体の評価が下がる。だから、良いものを作って出荷しないと行かないと言っていました。私は、そのような祖父の言葉を受けて、より良い野菜の栽培方法を学びたいと思い、農業大学の野菜園芸コースを選択しました。

今、特に知りたいことは、アスパラガスの萌芽から収穫までにかかる日数や一株から収穫できる本数が品種や栽培方法によって違うのかということ。これらのことを明らかにすることで、品質だけでなく収穫量を向上させ、より良い経営に繋げることができると考えています。

将来は、農業に係る公務員になることを目標としている

ので、農業大学校での学生生活の中で技術や知識を身につけていきたいと思っています。



実習風景

花き園芸コース 地藤 芯一



私は高校の農業科で草花を専攻し、主に鉢花栽培に

ついて学びました。将来も農業（花き）に関わる職業に就けたらと思います、農業大学校でも花き園芸コースを専攻し、知識を深めるため勉強しています。

農大では、高校では学べなかった知識や技術を学ぶことができ、毎日新鮮な日々を過ごしています。

温室や屋外ほ場で切り花や鉢花など、いろいろな花が栽培されています、少しでも興

味のある方は、ぜひオープンキャンパスに参加してみてください。



実習風景

果樹園芸コース 鉄村 健



私が果樹を専攻した理由は、香川県のほとんどの果

樹を農業大学校で作っているということを知ったので、オープンキャンパスで聞いて興味を持ち、是非やってみようと思ったからです。

高校では畜産を専攻していたので、果樹とは無縁だったし、授業や実習についていけるか不安でした。授業では専門的な用語ばかりでわからなかったけど、先生が分かりやすく解説してくれているので、とても勉強になっています。



実習では初めての作業ばかりで不安なことがたくさんありましたが、先生や先輩方が優しく丁寧に教えてくださっているのおかげで、作業は大変ですが、楽しくできています。



実習風景

造園緑化コース 上野 夏輝



私は、高校時代から造園の勉強しており、より専門的な知識や技術を学びたいと思い入学しました。

農業大学校は、高校よりも自由度が高く、率先して実習に取り組むことで、より深く学ぶことができます。実習を通じて、やさしい先輩や同級生とも仲良くできるのも魅力的です。また、様々な資格も取得できるので、就職に有利

になるよう多くの資格を取得するとともに、松の管理や刈り込み等の実習で力をつけていき、憧れの「栗林公園」で庭師として働けるように頑張りたいと思います。



実習の刈込作業



造園緑化コース集合写真

履修期間は2年間しかありませんが、とても学びやすい環境で実習も多く基本的な知識をつけることができるので、造園をやったことのない人でも楽しくできると思います。皆さんも充実した毎日を農業大学校で過ごしてみませんか？

畜産コース 大谷 茅颯



私は、将来、畜産関係の仕事に就きたいので、香川県

内で畜産をさらに詳しく勉強したいと考えていました。そんな時、インターネットで検索すると、「香川県立農業大学校」のホームページの中に「畜産コース」の紹介を見つけました。

それには、畜産に関する専門的知識に加え、最新のHACCPCPやスマート農業に関する講義があること。カリキュラムが実習主体に組まれていること。さらには、耕畜連携といったSDGsにも配慮した教育方針が示されていました。これは、まさしく私の志望

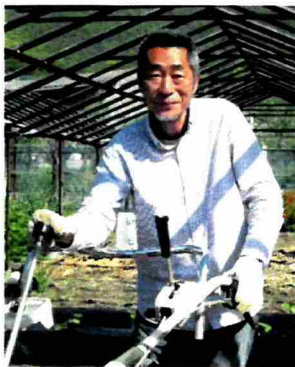


実習風景

とベストマッチでしたので、本校の「畜産コース」へ進学しました。そして、現在は、県畜産試験場等での実習や家畜人工授精師等の資格取得に大きな魅力を感じています。これは、必ず就職に役立つコンテンツなので、今から2年間、私なりに一生懸命頑張っていきたいと思っています。

同窓会（卒業生・修了生）だより

藤田 則久さん（小豆島町）



去る3月、同窓会役員会のため、電車で農大に向かいました。榎井駅から農大までの古い街並み、2年間過ごした学生寮など、40年前を懐かしく思い出しました。

私は、実家が小豆島特産の電照ギク農家だったこともあり、昭和56年、花きコースに



入学。卒業後は県庁の農業職員となり、今年3月に定年退職しました。

この間、多くの卒業生が農業経営者はもとよりJAや市場などで、本県の農業振興に大きく貢献されていることを知り、誇りに思っていました。現在、60歳での「新規就農」に向け準備中ですが、「修了生」のご活躍も、私の大きな励みになっています。

在校生の皆様、2年間はあつという間です。思いつきり学生生活を楽しみ、一生の財産となる友人をたくさん作ってください。

最後に、農大関係者の皆様のみますすのご活躍で、香川の美しい農村風景が、次代に受け継がれることを心より願っています。

## 学生募集

### オープンキャンパス

担い手養成科の受験案内を中心としたオープンキャンパスを実施します。参加希望の方は、3日前までに本校まで電話またはFAXやEメールでお申し込みください。

日時 7月30日(日)

9時30分～正午

場所 本校本館

また、農業大学校を知っていただくために、各コースの作業体験を中心としたオープンキャンパスも実施します。参加希望の方は、3日前までに本校まで電話またはFAXやEメールでお申し込みください。(オンライン申込可能)

①日時 8月9日(水)9時30分～正午

コース 野菜、

花き 場所 本校榎井農場

②日時 8月21日(月)9時30分～正午

コース 果樹、

林業・造園緑化 場所 本校榎井農場、買田農場

③日時 8月26日(土)9時～15時30分

コース 畜産等

内容 牧場・農場見学

④日時 12月25日(月)9時30分～正午

コース 野菜、

花き、果樹 場所 本校榎井農場、買田農場

⑤日時 3月9日(土)9時30分～正午

コース 林業・造園緑化

場所 榎井農場

### 入学試験

専攻コース 野菜園芸、花き園芸、果樹園芸、林業・造園緑化、畜産

定員 合計 45名

推薦入学試験

・願書受付期間

9月21日(木)～10月4日(水)

・試験日

10月12日(木)

・合格発表

10月19日(木)

一般入学試験(前期)

・願書受付期間

11月28日(火)～12月11日(月)

・試験日

令和6年1月5日(金)

・合格発表

令和6年1月11日(木)

一般入学試験(後期)

・願書受付期間

令和6年1月30日(火)～2月5日(月)

・試験日

令和6年2月13日(火)

・合格発表

令和6年2月16日(金)

### 技術研修科研修生募集

技術研修科では、新規就農を希望する人や、既に就農している農業者などの多様なニーズに応えるため、各種研修課程を開講しています。

就農を支援するための研修

これから就農を目指す人を支援するための研修として、「就農実践研修(1年間)」、「就

農準備研修(半年間)」、「農業基礎講座(6日間)」、そのほかに「職業訓練研修(受託研修)」等を開講しています。これらの研修では、講義や実習を通して野菜、花き、果樹等、農業に必須な基礎知識と栽培技術を学びます。

営農技術向上を支援するための研修

農業者や農業指導者、新規就農者等を対象にした研修では、「農業機械利用技能者養成研修」において、農業機械の資格取得や、安全運転や点検・整備等の技術習得を目指し、「フォロアアップ研修」、「聴講生受入研修」では、「鳥獣害対策」や「病害虫防除」等、希望する講義の聴講を通じて専門知識を学びます。

農業の理解を促進するための研修

園児、児童、生徒や、教員の方を対象に農作業の「農業体験研修」を開講しています。これらの研修では「イチゴ」や「サツマイモ」の収穫等の農作業体験を通じて、農業の理解を高める取組みを行っています。

研修の詳しい内容、募集日程等は農大ホームページでご確認ください。